
恋唄～前編～

ゆりちゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋唄〜前編〜

【Nコード】

N7381B

【作者名】

ゆりちゃん

【あらすじ】

私を救ってくれたのはあなた。私に愛を覚えてくれたのもあなた。「ねえ？明良は私のことどう思ってたのかな？」「私は明良のこと愛してたよ・・・」『神様、あなたはひどい人です・・・』

前編

あなたは優しかったね……。

いつも私が寂

しいときにはそばにいてくれた。

私もそんなあなたが好きだ

った。大好きだった。愛してたよ。

あなたもそう思ってくれるかな……

???

「明良……帰ろう……!!」

「おう!! つーか佳奈と久しぶりに帰るよなあ……」

「うん!!」

「そんなに嬉しい??」

「!! 明良はうれしくないの……!!??」

「あははっ 俺も佳奈と帰れてうれしいよっ!!」

オオイシカナ
大石佳奈高一。

一年前から明良と付き合ってます!!

マスタア
増田明

キラ
良同じく高一。佳奈LOVEの男

そんな二人が出会ったのは中三の春だった・・・。

『佳奈！！宿題見せて

っ！！』

「あっ、うん」

この頃の私は

まだクラスになじめないでいた。

唯一小学校からの友達だっ

た『麻紀^{マキ}』とは普通に話していたが、麻紀にはグループがすでにあって私とはあまり行動をしなかった。

そんな時だった。ある事件が起こっ

たのは・・・。

私は移動教室から帰っ

てきていつものように席に着こうとした。

そして机を見たたん・・・

『死ね！！きもい！！バカ！！』などいろいろな言

葉が書かれていた。

私は何でこんなことされなきゃいけないの??私になんかした?
?

これを見た

とたん、いろいろな気持ちが私の中で交差した。

それから佳奈は人の目を

嫌った。

いわゆる不登校になってしまったのだ。

ピンポーン・・・

誰か来た・・・。

佳奈は両親に

イジメられていると言えずに『風邪』ということかで休んでいた。

しかし、もうそろそろ一ヶ

月がたとうとしている。

風邪と言うことで休むのも限界が来ていた。
た。

あゝあ。もうそろそろ学校に行こうかな・・・でも
また・・・。

コンコン

???.起きてる???

『佳奈ちゃん

』あ〜、うん。起きてるけど・・・」

『お友達がいら

っしやったわよ?』

えっ!? 誰!?

『なんか佳奈ちゃんと同じクラスの増田明良
くんって子なんだけど・・・』

知らない人だよ……。でも同じクラスの人だよね??ま
さか私の机に書いた・・・。
『佳奈

ちゃん??どつする・・・???』
「連れてきて・・・!!!」

もし書いた人

ならなんでどつどつとしたのか聞いてやる・・・!!!

コンコン

来た!!!

「・・・はっ」

ガチャッ

「えーと、俺は学級委員の増田明良です！今日は佳奈さんのプリントを届けに来ました！！」

学級委員……………違った……………

ポタッ

「えっ！？何で泣いてんの！？俺なんか失礼なこと言った！？」

「……………違う……………。ヒックッ……………増田君は……………悪くないの……………」

かっこ悪い……………

。初対面の人の前で泣くなんて……………。

「……………ごめんね……………！！！！すぐ……………すぐ泣きやむから……………」

ギョッ

えっ……………???

「泣くなよ……………。俺はずっと知ってたんだからな……………！！」

「……………！！！！うそっ……………！！！！なんでっ……………！！！！」

「驚いた……………??？」

「おっ、驚くに決まってるじゃん！！」だってまだ私、誰にも言っ
てなかったのに……………。なんで！？」

「おっ！今なんぞでって思っただろっ！？」

「……………うん」

見透かされて

る……………。

「それは……………」

ゴクッ

「秘密」

「なんでよっ！！！！」

「やっと泣きやんだ」

こいつ！！最

初から私を泣きやませるためにこんなことを！？でもそんなうまい話あるわけないだろうし……。

「大石がされたことは本当に知ってるよ……。」

「俺、大石が好きだ……！！」

「！！！！なっ！！！！！！」

その後、増田

は私を抱きしめたまま少しずつ話し始めた。

誰があんなことをやったの

か。

クラスの人たちは心配してるとか。

増田のせいでもあったとか……。

私は聞いていて涙があふれてきた。

自分が一人じゃないってことが
すごく嬉しくて、自分がみんなに必要とされてることがすごくうれ
しかった。

「……告白の返事聞かせて??」

増田がすごく真剣な目で聞いてきた。

「じっ、これからよろしくお願いします!!」

「ムジっ俺

で良いの??」

「……うん」

「やった!!!!!!」

「あっ、そうだ今度デートしない??」

「今度つて??」

「うん、日曜日とかあいてる??」

「うん!!」

「じゃあ今週の日曜日、草原公園で待ち合わせな!!」

「うん!!」

久しぶりのデートだな〜!! かわいい洋服きて行こ!!

「じゃあ、日曜日な!!!!」

「うん!! バイバイ〜!!!!」

そしてこれが最後の明良と交わした会話だった……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7381b/>

恋唄～前編～

2010年10月14日02時19分発行